

## LORC12月スケジュール

- 10日(金) 第1班研究会：龍谷大学深草学舎紫英館5階会議室にて18：30より  
11日(土) 第2班研究会：龍谷大学深草学舎紫光館3階研究交流室にて17：00より  
28日(火) 冬季休暇開始(1月5日まで)

## 各班活動状況

### 第1班 RA 辻本 乃理子

12月10日に第3回研究会を龍谷大学深草学舎5回会議室にて開催いたします。内容は、班代表白石より「英国におけるパートナーシップへの新たな挑戦：ローカルコンパクトと地域戦略パートナーシップ」、PD的場・RA辻本より「Herefordの地域戦略パートナーシップの概要とLeeds市のサステナビリティへの対応」の報告と、今後開催を予定している研究会、シンポジウム開催について、2004年度研究報告書について議論する予定です。また、2005年1月に英国で展開されている地域戦略パートナーシップ(LSP)の中でも最も優れた事例のひとつに挙げられるリバプール市から、リバプール・ジョンムアー大学教授 Hilary Russell 氏とリバプール・パートナーシップ・グループ事務局長、リバプール市職員 Penny Wakefield 氏を招聘し、2005年1月14, 15, 16日にシンポジウムを開催いたします。1月15日については第4回研究会として開催します。

### 第2班 RA 新井 健一郎

11月23日に開催された第5回研究会では、主に2班の今後の研究の方向性について話し合いがもたれた。1, 3班からも多くの研究員の方にご参加いただき、対象とする人材の層や、教育が施されるレベル、専門性の高低、拠点とする地域などを明確化する必要があるという問題意識が班をこえて共有された。次回12月12日の研究会で更に議論を続ける。また、23日の研究会では松浦先生から地域住民が主体的に番組制作に携わる非営利放送の必要性、可能性、問題について、映像資料をふんだんに交え、示唆に富んだご報告を頂いた。

### 第3班 RA 田村 瞳

11月15日(月)に第3班ワーキンググループ(WG)合同研究会を開催しました。この研究会では、今まで2つに分かれて進めていたWGの成果をそれぞれ報告し合い、相互理解が深まりました。そして、11月23日(祭)に第3班第4回研究会を開催し、来年の提言書作成に向けてその具体的方向性、全体の構成等が議論され、それぞれの(執筆に関する)役割分担が確認されました。11月24日(水)25日(木)には、キャンパスプラザ京都でコンファレンス「地域社会における公共的人材育成システムの構築とその社会的認証」を開催し、自治体関係者、NPO関係者、研究者等との密度の高い情報交換がなされ、今後のLORCの活動にとって実りの多いものとなりました。尚、23日に決定された提言書作成の各自の役割分担の成果は、次回の第5回研究会(1月初頭予定)で発表することになっています。

### 第4班 RA 金 湛

11月8日午前、The Hague(オランダ)で今年度第4班第5回の研究会が開かれた。参加者はこれまでの正式メンバーを始め、これから新しいメンバーとしてLORC第4班に“加盟”するインド、ウガンダ、南アフリカ(インドネシアの研究者は事情により参加することができなかった)の研究者が招聘され、それぞれの国の事情およびこれからの共同研究体制について意見交換を行った。1月には来年度の活動について打ち合わせ会議が行われる予定である。

## LORC information

### LORC 国際シンポジウムが無事終了しました

去る11月8日(月)~10日(水)(10日は現地視察) オランダのハーグにて LORC 国際シンポジウム “ Citizen ' s Participation in Local Public Policy Making: European Experiences in Global Perspectives ” を開催致しました。LORC 研究員、アジア・アフリカからの招待研究者、そしてヨーロッパの事例発表者など総勢35名の参加を頂きました。シンポジウムでは、まずはじめに Dr. Linze Shaap (Senior Lecturer of the Centre for Local Democracy, Department of Public Administration, Erasmus University Rotterdam)が ” Map out the major European terrains and issues in municipalities and civil society with a coherent perspective ” というタイトルで講演され、ここでの議論を元に、分科会においてヨーロッパでの地域レベルの取り組みが発表され、活発な議論が交わされました。今シンポジウムの報告書は、来年1月中旬に英語版が VNG より提出され、それをベースに参加者の議論を踏まえた日本語版も作成する予定です。詳しくはまた追ってお知らせします。ご参加頂いた皆様、どうもお疲れ様でした。またご協力ありがとうございました！



### コンファレンス「地域社会における公共的人材の育成システムの構築とその社会的認証」が開催されました

国際シンポジウムの2週間後、11月24日(水)25日(木)に第3班主催のコンファレンス「地域社会における公共的人材の育成システムの構築とその社会的認証」が開催されました。今回のコンファレンスは一般の方にも公開されましたが、平日にも関わらず連日50名近い方々にご参加頂きました。基調講演には、1日目に現在 LORC で招聘している、南イリノイ大学名誉学長 Dr. David Werner に、2日目には、第3班の研究にも参加して頂いている、英国パーミンガム大学都市・地域研究センター客員講師の小山善彦氏にお越し頂き、アメリカとイギリスの認証制度および研修システムなどについてご報告頂きました。また、ラウンド・テーブル・ディスカッションでは、自治体首長・職員、NPO 代表、大学研究者の方々に地域での取り組みと実情についてご報告頂き、一般参加者も含めて活発な議論が交わされました。コンファレンス後に参加者の皆様をお願いしたアンケートでも、「今テーマへの理解が深まった」、「色々な方とお会いできて新しいネットワークが出来た」など、ポジティブなご意見を多数頂きました。ご参加頂いた皆様、どうもありがとうございました。また、この場をお借りして、今回のコンファレンスの開催にご協力頂いた、大学コンソーシアム京都およびスタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。



## LORC 資料室内文献紹介

興味のある文献について、LORC 支援室 (TEL : 075-645-2312) までご連絡頂ければ、目次のコピー、一時貸し出しなど対応させていただきます。

江原裕美 (編) 『開発と教育 : 国際協力と子どもたちの未来』 (新評論、2001)  
日刊工業新聞企業情報センター (編) 『全国団体名簿 (平成 15 年度版)』 (日刊工業新聞社、2002)  
内閣府国民生活局 (編) 『NPO 支援組織レポート 2002 : 中間支援組織の現状と課題に関する調査』 (財務省、2002)  
内閣府国民生活局 (編) 『NPO 活動の発展のための多様な評価システムの形成に向けて : NPO の評価手法に関する調査報告書』 (財務省、2002)  
経済企画庁国民生活局 (編) 『特定非営利活動法人の活動・運営の実態に関する調査』 (大蔵省、2000)

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

[http://www.gyosei.co.jp/book/g\\_zassi/gover/index\\_gover.html](http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html)

日経グローカル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

## 掲示板

### 第 2 班代表土山先生からのお知らせです

現在発売されている『地方自治職員研修』に巻頭言を書いていらっしゃるそうです。皆様是非ご覧下さい。

この『地方自治職員研修』の来年 1 月号、2 月号に、今年度第 2 班が行った自治体向けのアンケート調査の内容について掲載されるそうです。皆さん楽しみに！

### 第 2 班研究員松浦さと子先生のヨーロッパ訪問記録 (VTR) について

松浦先生から 11 月にドイツとオランダで調査された記録 (VTR) を LORC に頂きました。行政のインフラ補助を受け、市民が主体となって地域の草の根レベルの問題について発信できる番組を製作・運営していく、市民メディアの現状についての調査です。興味がおありの方は LORC 支援室新井 ([ken-arai@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:ken-arai@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp)) までご連絡下さい。

### 新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひ LORC 支援室の場 ([matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp)) までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願い致します。

## LORC 研究員のひとこと（紹介）

今月の研究員紹介は、第3班の川村喜芳先生と第4班の中村尚司先生です。

### 川村喜芳 氏

#### 北海学園大学法学部非常勤講師

道職員から北海道町村会常務を経て旭川大学教授となり地方自治論を教えていましたが、3月で退任しました。現在は、北海学園大学法学部で地方公務員論を教えています。北海道町村会の常務時代に始めた地方自治土曜講座が今年で10年目を迎え、10月30日の講座で今年の全日程を終えました。受講者は毎年3分の1くらいが入れ替わりますが、10年前の顔ぶれもチラホラ見かけます。広い北海道の各地から10年間通いつづけるエネルギーが地域を変えようとしています。

### 中村尚司 氏

#### 龍谷大学経済学部教授

スリランカでは1983年以来、民族間の内戦が約20年間も続いていた。ノルウェー政府の斡旋により、2002年にようやく当事者間で停戦協定が結ばれた。恒久的な平和への道は、決して平坦とはいえないが、双方とも連邦制に基づく地方分権を進めると約束している。私たちの「地域人材・公共政策開発システム」ORCにおける研究成果が、いくぶんなりとも和平への後押しになることを期待したい。

## 編集後記

オランダ国際シンポジウムと英国調査では、大変有益なお話を聞かせていただき、今までにない体験をさせていただきました。特に英国では公衆電話にじめられました。シンポジウムに参加された皆様、調査にご協力くださった皆様、本当にありがとうございました（N）

気候、風景とも、ようやく冬らしくなってきました。よい冬をお過ごしください。（K）

運が悪く交通事故に遭ってしまいましたが、幸い軽傷で済みました。ふと、自分の運の強さを自覚した今日この頃です。（H）

寒くなってきた、紅葉が落ち葉になって、転がりながら土に返って行く。近所のおじさんが毎日枯葉を集めて燃やしている。煙の向こうに、いつも元気だった犬が小屋から顔を半分出して、怠けた表情でその風景を眺めている・・・木も犬もそして私も春を待っている。（Z）

十二月は師走と呼ばれ、その名の通りいそがしく過ぎていきます。そして、一月は居ぬ、二月は逃げる、三月は去る・・・というわけで大好きな季節はあっという間に終わっていきます。私としては六月と七月と八月と九月に逃げて行って欲しいのに。（W）いつの間にやらもう師走。皆さん忙しく走り回っていらっしゃいますか？良い年末をお過ごし下さい。（T）

LORC Newsletter Vol4, 30 September 2004

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: [matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>